

# あいち 食品工業技術センターニュース

## 2016年4月号

- 今月の内容
- 新任のごあいさつ
  - 平成28年度 研究テーマ
  - 平成28年度 新体制及び人事異動
  - お知らせ

### 新任のごあいさつ

センター長 中莖 秀夫



このたび、4月1日付であいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター長に就任しました中莖秀夫（なかくきひでお）です。新任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

愛知県の工業製造品出荷額は43兆8千億余円（平成26年工業統計表（経済産業省））で、昭和52年から38年連続で全国第1位となっています。その中心は自動車を主とする輸送用機械器具製造業ですが、食料品製造業（飲料含む）も主要産業としての位置を保っており、2兆円を超える製造出荷額は静岡県、北海道に次ぐ全国第3位を誇っています。

当センターは、昭和31年に愛知県食品工業試験所として設立されて以来、関係業界のご支援・ご協力をいただきながら、地域食品関連企業に対する技術相談・指導、依頼試験、研究、講演・講習会、情報発信等の幅広い技術支援を通じて産業振興を図るための業務を推進してきました。平成24年1月の組織改編により、あいち産業科学技術総合センターの食品工業部門としての位置づけとなりましたが、設立当初の産業振興を図るといふ使命は、何ら変わりなく取り組んでいるところです。

愛知県では平成23年度から5年間にわたり公益財団法人科学技術交流財団に委託し、「知の拠点あいち」を研究拠点として重点研究プロジェクトを進めてまいりました。そのプロジェクトの一つに「食の安心・安全技術開発プロジェクト」があります。平成27年度末をもってプロジェクトは大きな成果を上げて終了しましたが、その成果を広く普及し、発展させるため、この4月から当

センターに「成果活用プラザ」を開設しました。ここでは技術移転をサポートするコーディネータを中心に、5年間の研究開発の成果を紹介するほか、開発された技術を研究開発に携わった企業から食品関連企業（ユーザー）に橋渡しをするための活動や、成果普及・移転のための研究会の開催などを3年間にわたり行うことになっています。今後、体制を整備して活動を進めてまいりますので、本ニュースや当センターのホームページなどで発信される情報にご注目下さい。

また、当センターの本部機関であるあいち産業科学技術総合センター（豊田市）では、去る3月30日にあいち産業科学技術総合センターアクションプランを策定し公表しました。これは「あいち産業労働ビジョン2016—2020」や「あいち科学技術・知的財産アクションプラン2016—2020」と連動して、あいち産業科学技術総合センターにおける「ものづくりイノベーション創出」と「中小企業・小規模事業者の企業力強化」を施策の柱とし、それらを実現するための具体的な取り組みを明らかにしたうえで組織の機能強化を目指していこうというものです。これに基づき、技術支援・研究機能の充実と、効率的運営を推進してまいります。

食品表示問題やTPPへの対応など、食品業界は今後、一層大きな波にさらされていくことが予想されます。食の安全・安心の確保、食品副産物・廃棄物の有効利用、新製品開発等々、皆様方が抱える技術課題の解決に職員一同、精一杯ご対応させていただく所存です。皆様方のなご一層のご利用を是非お願いいたします。